

カルシトニン(1977or8)  
 エルカトニン(1982)  
 アルファカルシドール(1983)  
 イブリナボン(1988)  
 カルシトリアル(1989)  
 サケカルシトニン(1990)

## 主要薬剤(骨粗鬆症関連)上市



1993年 Osteoporosis Japan vol.1,no.1 発行

1995年 IOF:10月20日 世界骨粗鬆症デー制定

1996年

1997年

1999年 1999年4月1日 日本骨粗鬆症学会設立(前身は日本骨粗鬆症研究会) 機関誌は、Osteoporosis Japan (日本骨粗鬆症学会雑誌オステオポロシス ジャパン) (略称「Osteoporosis Jpn」)(和文誌)(年4回)

年・月	理事長	会員数 (年度当初)	日本骨粗鬆症学会(学術集会)			
			回	学会長	開催地	
1992年度	日本骨粗鬆症研究会		第1回	森井 浩世	大阪府大阪市	
1993年度			第2回	折茂 肇	東京都港区	
1994年度			第3回	山本 吉蔵	大阪府大阪市	
1995年度			第4回	井上 哲郎	静岡県浜松市	
1996年度			第5回	森田 陸司	大阪府大阪市	
1997年度			第6回	森井 浩世		
1998年度			第7回	高橋 榮明	新潟県新潟市	
1999年度	森井 浩世	960名	第1回	福永 仁夫	岡山県倉敷市	
2000年度		1,205名	第2回	佐藤 光三	秋田県秋田市	
2001年度		1,370名	第3回	清野 佳紀	大阪府大阪市	
2002年度		1,400名	第4回	太田 博明	東京都港区	
2003年度		1,490名	第5回	名和田 新	福岡県福岡市	
2004年度		1,520名	第6回	中村 利孝	埼玉県さいたま市	
2005年度		1,576名	第7回	西澤 良記	大阪府大阪市	
2006年度		高橋 榮明	1,642名	第8回	中村 耕三	東京都新宿区
2007年度		中村 利孝	1,685名	第9回	大内 尉義	大阪府大阪市
2008年度			1,774名	第10回	高岡 邦夫	
2009年度			1,778名	第11回	白木 正孝	
2010年度		太田 博明	1,688名	第12回	宗園 聡	大阪府大阪市
2011年度			1,666名	第13回	杉本 利嗣	兵庫県神戸市
2012年度			1,699名	第14回	遠藤 直人	新潟県新潟市
2013年度			1,722名	第15回	三木 隆己	大阪府大阪市
2014年度		宗園 聡	2,626名	第16回	加藤 義治	東京都新宿区
2015年度	3,649名		第17回	藤原 佐枝子	広島県広島市	
2016年度	5,126名		第18回	井樋 栄二	宮城県仙台市	
2017年度	遠藤 直人	6,122名	第19回	福葉 雅章	大阪府大阪市	
2018年度		7,195名	第20回	伊東 昌子	長崎県長崎市	
2019年度		8,070名	第21回	萩野 浩	兵庫県神戸市	
2020年度		8,885名	第22回	伊木 雅之		
2021年度	8,991名	第23回	竹内 靖博	大阪府大阪市		
2022年度	9,639名	第24回	大園 恵一			
2023年度	萩野 浩	10,665名	第25回	濱藤 啓広	愛知県名古屋	
2024年度		11,952名	第26回	三浦 雅一	石川県金沢市	

(2024年9月1日現在)

2001年 アレンドロネート

2002年 リセドロネート エストラジオール

2003年 A-TOP研究会設立 JOINT-02開始

2004年 ラロキシフェン

2006年 2006年12月 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2006年版発刊

2008年 JOINT-03開始

2009年 ミノドロネート バゼドキシフェン

2010年 テリパラチド連日

2011年 2011年3月 生活習慣病骨折リスクに関する診療ガイドライン 2011年11月 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2011年版発刊 JOINT-04開始

2012年 2012年2月 骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用使用ガイドライン2012年版発刊 2012年9月 第1回骨粗鬆症マネージャーレクチャーコース開催(以後、原則春・秋の年2回開催)

2013年 2013年4月1日 法人化、一般社団法人日本骨粗鬆症学会となる 2013年8月 第1回サマーセミナー開催(以後、原則年1回開催)

2015年 2015年4月 第1期骨粗鬆症マネージャー認定(以後、原則年1回認定) 2015年8月 第1期骨粗鬆症学会認定医認定(以後、原則年1回認定) 骨粗鬆症標準用語集発刊 JOINT-05開始

2024年 2024年10月12日 学会設立25周年記念式典挙行(高円宮妃殿下お成り)

2022年 2022年9月 骨代謝マーカーハンドブック発刊

2021年 JOINT-06開始

2019年 2019年9月 生活習慣病骨折リスクに関する診療ガイド 2019年版発刊

2018年 2018年6月 Journal of Bone and Mineral Metabolism (JBMM:英文誌) 学会機関誌化(年6回 オンライン) 2018年4月1日 日本医学会加盟(No.131) 2018年10月 骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用使用ガイド2018年版発刊

2017年 2017年7月 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版発刊 2015年11月 学会誌をrenewal 日本骨粗鬆症学会雑誌(The Journal of Japan Osteoporosis Society) (略称「JJOS」) 発刊(和文誌)(年5回) 椎体骨折診療ガイド 発刊

## 主な事業

加盟団体	教育・生涯教育活動	認定・専門医制度
国際骨粗鬆症財団(International Osteoporosis Foundation: IOF) アジア国際骨粗鬆症学会連盟(The Asia Pacific Consortium on Osteoporosis: APCO) 日本医学会 / 日本医学連合会 運動者の健康 / 日本協会	学術集會開催時: 教育講演、シンポジウム等開催 骨粗鬆症マネージャーレクチャーコース: 年2回開催 臨床研究サマーセミナー: 年1回 その他、認定教育研修会を随時各地で開催	日本骨粗鬆症学会認定医 骨粗鬆症マネージャー